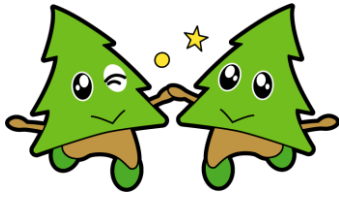


# あきたスギッチファンド通信



No. 6 2011年5月31日発行

特定非営利活動法人  
あきたスギッチファンド

TEL 018-839-8941

FAX 018-829-5803

## 平成23年度事業スタート

平成23年度は東日本大震災による未曾有の被害、不安、混乱の中でスタートを切りました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。今、日本国中に被災地のために何かをしなければという思いが広がり、また福島の子原子力発電所の事故に、エネルギー問題の深刻さを思い知らされております。

あきたスギッチファンドでは早速約80カ所の事業所、店頭に「大震災からの復興に尽力するNPO・ボランティアの活動を支援する」募金箱を設置しました。

そんな折、北秋田市の三国商事株式会社様より“大震災の被害にあい、秋田県内に避難している子どもを多方面から支援するNPO等の団体の活動に500万円を寄付したい”というビッグニュースが飛び込んできました。三国商事株式会社様のご意思を受け入れ、活かすためには、何よりも早く助成事業を実施しなければなりません。通常の助成事業と切り離して、緊急に「あきたスギッチ冠ファンド 東日本大震災『三国子ども支援ファンド』」として募集を開始することにしました。(詳細は3ページ参照)

5月14日、遊学舎に三国社長をお迎えして寄付金の贈呈式が執り行われました。三国社長は寄付金を活かして欲しい、これを契機に多くの企業団体からの寄付が広がって、スギッチファンドがもっと活発に活動し認められるようになって欲しいと挨拶されました。大変喜ばしく、かつ励まされるお言葉でした。

なお、同日あきたスギッチファンド助成事業報告会が開催され、第2回(平成22年2月助成)、第3回(平成22年7月助成)の事業報告が行われました。

## 総会報告

特定非営利活動法人あきたスギッチファンドの平成23年度総会が2011年4月27日17時からパーティギャラリー・イヤタカ(秋田市中通6丁目)に於いて開催されました。

3月に起きた東日本大震災の犠牲者を悼んで黙とうしたのち、司会者(高橋茂氏)が正会員150名中、参加者27名、委任状68名で会議は成立した旨を告げ、開会しました。

最初に理事長が、スギッチファンドは寄付を集める事業と助成事業がバランス良く進められることが大事で、昨年度は企業のCSRとしての寄付や定額寄付等があり、一昨年と同程度の助成事業を実施することができた、先の東日本大震災後のボランティア・NPOによる活発な災害復興支援や寄付意識の高まり、国の新しい公共事業の開始など、スギッチファンドの活動を後押しする気運が醸成されている、新年度も一層のご支援をお願いしたいと挨拶しました。

次に議長に高堂裕氏を選出し、早速審議に入りました。

平成22年度事業報告、収支決算報告、監査報告が事務局から説明され、全員異議なく承認されました。続いて平成23年度事業計画(案)、収支予算(案)について事務局から説明があり、これも全員異議なく承認されました。(2ページ参照)

今回理事の辞任、新任について提案があり、異議なく承認されました。

以上により審議を終了し、この後同じ会場で懇親会を開催、会員の親交を深めました。

あきたスギッチファンド 平成23年度主な事業

事業名	事業内容	備考
寄付金募集事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄付金募集のための活動 企業、団体等への働きかけ 県、市町村への働きかけ</li> <li>寄付金募集のためのイベント フリーマーケット、募金キャンペーン、チャリティ事業等</li> </ul>	随時
助成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業報告会 第2回～第3回助成事業報告会 5月 第4回助成事業報告会 11月</li> <li>助成事業 本ファンド 30万円×12、10万円×16 冠ファンド 30万円×1</li> <li>第5回助成事業（2011年7月～2012年2月） 募集開始 書類審査、公開審査</li> <li>第6回助成事業（2012年2月～7月） 募集開始 書類審査、公開審査</li> </ul>	2011年 5月 7月  2011年10月 2012年 1月
相談・コンサルティング事業	申請団体、助成先団体に対する相談、指導 県北NPO支援センター、あきたパートナーシップ、県南NPOセンターで実施	
広報・啓蒙事業	パンフレット作成及びホームページの維持管理	
その他事業	寄付金等の管理運営 認定NPO法人の検討 会員研修	

あきたスギッチファンド 平成23年度主な予算

(NPO 法人会計基準に準拠)

収入の部

(単位：円)

科目	前年度決算額	予算額	摘要
受取会費	334,000	540,000	正会員 118 団体会員 30 特別会員 12
受取寄付金	2,985,371	3,400,000	
受取助成金等	5,633,329	8,632,303	県補助金（うち助成金補助 3,000,000）
その他収益	947	1,000	
前期末払ファンド戻入	120,000	0	
経常収益計	9,073,647	12,573,303	

支出の部

科目	前年度決算額	予算額	摘要
1. 事業費	8,239,219	8,998,000	
寄付金募集事業	2,533,581	2,683,000	資金調達経費等
助成事業費	4,917,307	5,500,000	
広報・啓蒙事業費	544,678	370,000	パンフレット作成費、HP 管理費等
その他の事業費	243,653	445,000	相談コンサルティング、選考経費等
2. 管理費	279,936	3,458,303	
人件費等	0	3,079,303	ファンド基盤整備
その他の管理費	279,936	379,000	
経常費用計	8,519,155	12,456,303	
前期繰越正味財産額	1,516,421	2,070,913	
次期繰越正味財産額	2,070,913	2,187,913	

## あきたスギッチ冠ファンド東日本大震災『三国こども支援ファンド』

三国商事株式会社様からのご寄付の申し出を受けて、4月29日～5月12日募集しました。

### 募集要項

助成対象事業：東日本大震災の被害にあい、秋田県内に避難しているこどもを多方面から支援する活動を行う、秋田県内のNPO等の団体の事業

事業期間：平成23年5月27日から12月31日

助成金額：50万円 1団体      30万円 5団体      10万円 5団体  
 合計250万円      助成率 10/10

急な募集でしたが、50万円4件、30万円4件、10万円2件の申請がありました。

5月26日遊学舎に於いて、あきたスギッチファンド選考委員と寄付者三国節子社長とによる選考委員会が開催されました。（※）

選考に先立ち、三国社長が「被災した子どもたちの気持ちを思うと大変つらくなります。ふるさとを離れて秋田に避難している子どもたちに秋田の温かい気持ちを届け、秋田への良い思い出を作ってくださいと思います。」とご挨拶されました。

寄付者の意を受けて審査を行った結果、次頁のように助成先が決定しました。



遊学舎研修室で選考委員会を開催

### ※あきたスギッチファンド選考委員会

任期：平成23年～24年

選考委員名（敬称略、50音順）

鶴木 恵子	秋田県男女共同参画審議会 会長代行
北嶋 正	株式会社イヤタカ 代表取締役社長
北林 真知子	NPO法人バリアフリーネットワーク 理事
佐藤 裕	株式会社 秋田魁新報社 読者局長
島本 格	秋田県企画振興部地域活力創造課
寺門 敏子	NPO法人サポートセンタービーイング 理事参与
森園 浩一	国際教養大学 教授

## 10万円コース

募集5件に対して2件の応募があり、その中から1件が採択されました。

団体名	事業名、事業概要
明德館こんわ会	<p><u>子どもの相談&amp;おはなし会</u></p> <p>被災して秋田県内に暮らす未就学児を抱える親子に対して、子育て相談、教育相談にのることで、保護者達の不安を軽減する。また、子どもたちと一緒に読み聞かせやあそびをすることで子どもたちに精神的な安らぎを与える。</p>

## 30万円コース

募集5件に対して4件の応募があり、その中から3件が採択されました。

団体名	事業名、事業概要
NPO法人子育て応援SEED	<p><u>ともだちのたね 震災支援秋田で繋がる仲間づくり</u></p> <p>被災してきた子どもたちに呼びかけて、ゲーム、クッキング、アルバム作りなどの仲間づくりの交流・親睦会を開催する。秋田の豊かな自然の中で気持ちを開放させ、仲間づくりを通して絆を深め、同じような状況にある人たちが共有できる関係づくりができるように支援する。</p>
能代おやこ劇場	<p><u>クリスマス特別公演『ぼくのペットはグチャグチャペット』 &amp; クリスマス会</u></p> <p>会の活動計画にあったクリスマス特別公演を県内（特に県北）に避難している親子を招待して実施する。準備段階から参加してもらい、参加者同士のつながりを深め、継続的な支援ができるようにする。 舞台芸術の力で子どもたちの心を癒し、生きていく元気と勇気を与えたい。</p>
ボランティアサークル ててぼぼの会	<p><u>秋田に来た子どもたちを笑顔にしたい</u> <u>被災者支援 手作りお菓子で笑顔、親子お菓子作り体験</u></p> <p>秋田県菓子工業組合青年部と連携し、秋田に避難している被災者、その家族、支援者たちが秋田の子どもたちと一緒に秋田の食材を使ったお菓子作りを体験して交流を図る。</p> <p>※この事業については、選考委員会から予算等を再検討するようという条件付きの採択となった。これに対して、当団体では事業を圧縮して10万円の助成で実施することに変更した。</p>

## 50万円コース

募集1件に対して4件の応募があり、その中から1件が採択されました。

団体名	事業名、事業概要
自然あそび親子サークル Akita子どもの森	<p><u>秋田県内在住被災者家族支援活動</u></p> <p>震災当初から被災して秋田に避難してきた方たちを物心両面から支援してきた。 今後も生活物資の収集と無料提供によって、彼らの金銭的な不安を秋田県民の協力によって少しでも解消することができればと思う。と同時に、子育て活動を行っている団体として、子どもたちの遊び場づくり、その家族のリフレッシュできる場所づくり等心理的なことに関わる支援を行い、秋田県在住中の暮らし全体を応援する。</p>